

2013(平成25)年度資金収支予算概要

資金収支計算書

2013年度における学園の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

収入の部		(単位:千円)		
科 目	2013年度	2012年度	比較増減	
学生生徒等納付金収入	628,400	644,150	△ 15,750	1年250名(定員) 2年260名(15名減) 専攻科 20名(定員)
手数料収入	8,590	8,590	0	検定料 児童福祉学科 250名 専攻科 20名
寄付金収入	500	200	300	教育環境充実募金
補助金収入	50,178	45,105	5,073	経常費補助金 40,000 大学改革推進 10,073
国庫補助金収入	50,073	45,000	5,073	
地方公共団体収入	105	105	0	
資産運用収入	23,539	17,400	6,139	受取利息
資産売却収入	120,000	0	120,000	5号館土地・建物 売却収入
事業収入	2,336	1,950	386	講習会収入 1,820 受託事業収入 516
雑収入	19,206	510	18,696	預り金、奨学貸付金回収、特定資産預け替え、退職金財団交付金
前受金収入	211,675	211,475	200	前期未前受金(2013年度前期学納金)
その他の収入	296,059	8,947	287,112	2012年度末現金預金
資金収入調整勘定	△ 231,081	△ 211,475	△ 19,606	
資金収入合計	1,129,402	726,852	402,550	
前年度繰越支払資金	1,836,611	1,827,567	9,044	
収入の部合計	2,966,013	2,554,419	411,594	
支出の部				
人件費支出	411,290	390,822	20,468	教職員給与
教育研究経費支出	137,287	130,277	7,010	研究費、教材費、実験実習費他
管理経費支出	111,562	118,090	△ 6,528	大学改革推進補助金返還金減他
施設関係支出	27,746	97,190	△ 69,444	1号館教室、2号館地下改修工事他
建物	27,746	96,236	△ 68,490	
構築物	0	954	△ 954	
設備関係支出	29,028	7,671	21,357	ML特別教室用電子オルガン26台他
教育研究用機器備品	25,661	3,509	22,152	
その他の機器備品	1,927	2,722	△ 795	食堂厨房冷蔵庫庫、ガス炊飯器他
図書	1,440	1,440	0	
資産運用支出	298,645	49,535	249,110	
減価償却引当特定資産	0	15,000	△ 15,000	
出資金	0	2	△ 2	第2号基本金組入に対応する引当特定
土地取得引当特定資産	30,000	30,000	0	第3号基本金引当特定資産への繰入
第3号基本金特定資産	356	373	△ 17	
定期預金への繰入支出	266,000	1,800	264,200	減価償却引当特定資産、退職給与引当特定資産から預け替え
積立保険金	2,289	2,360	△ 71	
その他の支出	46,562	12,162	34,400	教職員養老保険
奨学貸付金	3,150	3,150	0	和泉奨学金(貸与) 6名
前期未払金	36,983	3,447	33,536	2012年度退職金、退職金財団掛金 2、3月分他
前期未預り金	6,429	5,565	864	
予備費	30,000	30,000	0	私学事業団共済掛金他
資金支出調整勘定	△ 3,260	△ 3,432	172	2013年度退職金財団掛金 2、3月分(期末未払金)
資金支出合計	1,088,860	832,315	256,545	
次年度繰越支払資金	1,877,153	1,722,104	155,049	
資金収支差額	40,542	△ 105,463	146,005	2013年度末 現金預金

※ 短期大学

1年 @1,340 * 250名 (定員)

2年 @1,050 * 260名 前年度比(15名減)

計 2,390

専攻科

1年@1,020 * 20名 (定員)

計 1,020

2013(平成25)年度消費収支予算概要

消費収支計算書

2013年度における学園の収支均衡状況を明らかにし、学園が健全であるかを示す計算書類
企業会計の「損益計算書」に相当

消費収入の部

(単位:千円)

科 目	2013年度	2012年度	比較増減
	(85.8%)	(89.7%)	
学生生徒等納付金	628,400	644,150	△ 15,750
	(1.2%)	(1.2%)	
手数料	8,590	8,590	0
	(0.1%)	(0.0%)	
寄付金収入	500	200	300
	(6.8%)	(6.3%)	
補助金	50,178	45,105	5,073
国庫補助金収入	50,073	45,000	5,073
地方公共団体収入	105	105	0
	(3.2%)	(2.4%)	
資産運用収入	23,539	17,400	6,139
	(0.3%)	(0.3%)	
事業収入	2,336	1,950	386
	(2.6%)	(0.1%)	
雑収入	19,206	510	18,696
	(100%)	(100%)	
帰属収入合計	732,749	717,905	14,844
基本金組入額合計	△ 30,356	△ 30,373	17
消費収入の部合計	702,393	687,532	14,861
消費支出の部			
人件費比率	(55.3%)	(53.9%)	
人件費	405,055	386,985	18,070
専任教員給	203,941	204,641	△ 700
兼任教員給	20,984	19,181	1,803
専任職員給	142,817	143,586	△ 769
兼任職員給	17,439	17,414	25
役員報酬	4,000	6,000	△ 2,000
退職給与引当繰入額	14,410	△ 3,837	18,247
退職金	1,464	0	1,464
教育研究費比率	(26.6%)	(26.6%)	
教育研究経費	195,259	191,267	3,992
(減価償却額)	(57,972)	(60,990)	(△ 3,018)
管理経費比率	(16.1%)	(17.3%)	
管理経費	117,964	124,383	△ 6,419
(減価償却額)	(6,402)	(6,293)	(109)
(広報宣伝費)	(24,744)	(25,509)	(△ 765)
資産処分差額	117,211	6,608	110,603
予備費	30,000	30,000	0
消費支出の部合計	865,489	739,243	126,246
当年度消費支出超過額	163,096	51,711	111,385
前年度消費収入超過額	2,179,199	1,891,593	287,606
基本金組取崩額	503,673	147,597	356,076
翌年度消費収入超過額	2,519,776	1,987,479	532,297
帰属収支差額	△ 132,740	△ 21,338	△ 111,402
帰属収支差額比率	-18.1%	-3.0%	

学校法人の負債とならない収入

第2号基本金(土地取得繰入)
第3号基本金組入

専任17名、特任1名

児童福祉学科39名(3名増)
専攻科 3名(1名増)

専任職員退職補充者との差額

契約職員、保健師、カウンセラー
学生アルバイト他

5号館売却による建物の売却収入と
帳簿価格との差額他

5号館売却による土地、建物除却他

基本金組入額内訳

第3号基本金

30,356

第3号基本金引当資産繰り入れ

基本金取崩額内訳

第1号基本金

503,673

土地 -68,113 建物 -457,045 教)機器備品 19,520 その他の機器備品 759
図書 1,440 電話加入権 -234

2013年度予算書概要説明

厳しい予算

学校法人会計基準に基づく予算には、資金収支予算書と消費収支予算書とがあります。

資金収支予算書の資金収入の部合計は、1,129,402千円で、資金支出の合計1,088,860千円です。

収入においては、5号館の土地、建物の売却による売却収入120,000千円により、前年度に比べ資金収支差額は、40,542千円増加になることにより、2013年度末繰越支払資金（現金預金）も同額増加する見込みです。

消費収支計算書の帰属収入合計は、732,749千円です。基本金組み入れは、第2号基本金として土地取得組み入れ計画により、30,000千円組み入れを行います。このことにより、第2号基本金組み入れ計画は終了致します。第3号基本金は、基金による運用果実（利息）から奨学事業経費を控除した残額356千円の組み入れを行い、第2号、第3号基本金組み入れ合計額は、30,356千円になります。

帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、702,393千円です。これに対して消費支出の部合計は865,489千円であるため、2013年度の消費収支差額は、163,096千円の消費支出超過になり、また帰属収支差額は132,740千円の支出超過になる見込みです。

この主な要因は、5号館売却による建物処分差額（帳簿価格が売却価格を上回る）が発生することによります。

○ 今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、4年制大学等の保育士養成校の増加等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2012年度は私立大学の約46%(264校)、短期大学の約70%(230校)が入学定員割れの状態で、大変非常に厳しい状況にあります。

本学は、帰属収入の約90%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、退学者の防止をしていかなければなりません。また、外部資金等の導入による経営戦略としては、文部科学省の競争的資源配分の獲得に向けて本学独自の教育と学生支援の質の向上を図るため、2012年度も大学改革推進等補助金に採択されました。

今後も教育研究活動の維持向上と全般的な支出の削減とのバランスを保ちながら、一層の財政基盤の強化を図っていかなくてはなりません。

2013年度は、教室を改修して、音楽環境を一層充実させるためにEML（電子音楽教育システム）の導入と教授会等の会議室の改修工事を行います。その他の施設設備整備としては、2号館（研究棟）地下に専攻科介護福祉専攻の入浴実習室、介護実習室の改修工事、5号館の土地、建物の売却など多くの事業を計画しています。

2013年度も深町正信理事長により「和泉短期大学の基本構想」を定め、次の4つ柱のもと事業展開をして参ります。1. 建学の精神であるキリスト教信仰の堅持と具体化、2. 単年度の経営の健全化、3. 教育と研究の一層の充実、4. 積極的に外部評価を受けて一層の警戒改善を図る。

大学を取り巻く環境は、年々厳しさを増し、入学定員確保という厳しい状況下において、本学の環境整備充実のために将来にわたり支出要因は多く、さらなる飛躍を目指して、今後も「出るを制し、入るを計る」ために業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出に努め資金の有効活用に努めます。

2013年度より法人名を和泉短期大学に変更いたし、今まで以上に建学の精神を原点としたスクールモットーであるキリスト教信仰に基づく「愛と奉仕」の人間形成により学生を大切にし、学生にとって居心地の良い明るいキャンパスを本学教職員、法人関係者の協力を得て、創って参ります。

事務局長 土橋正文